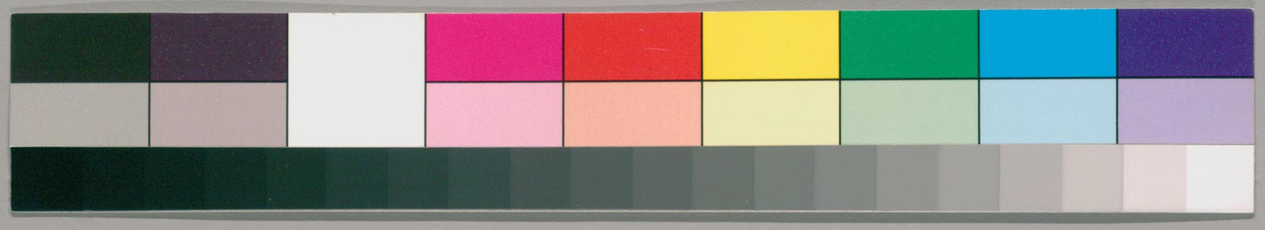
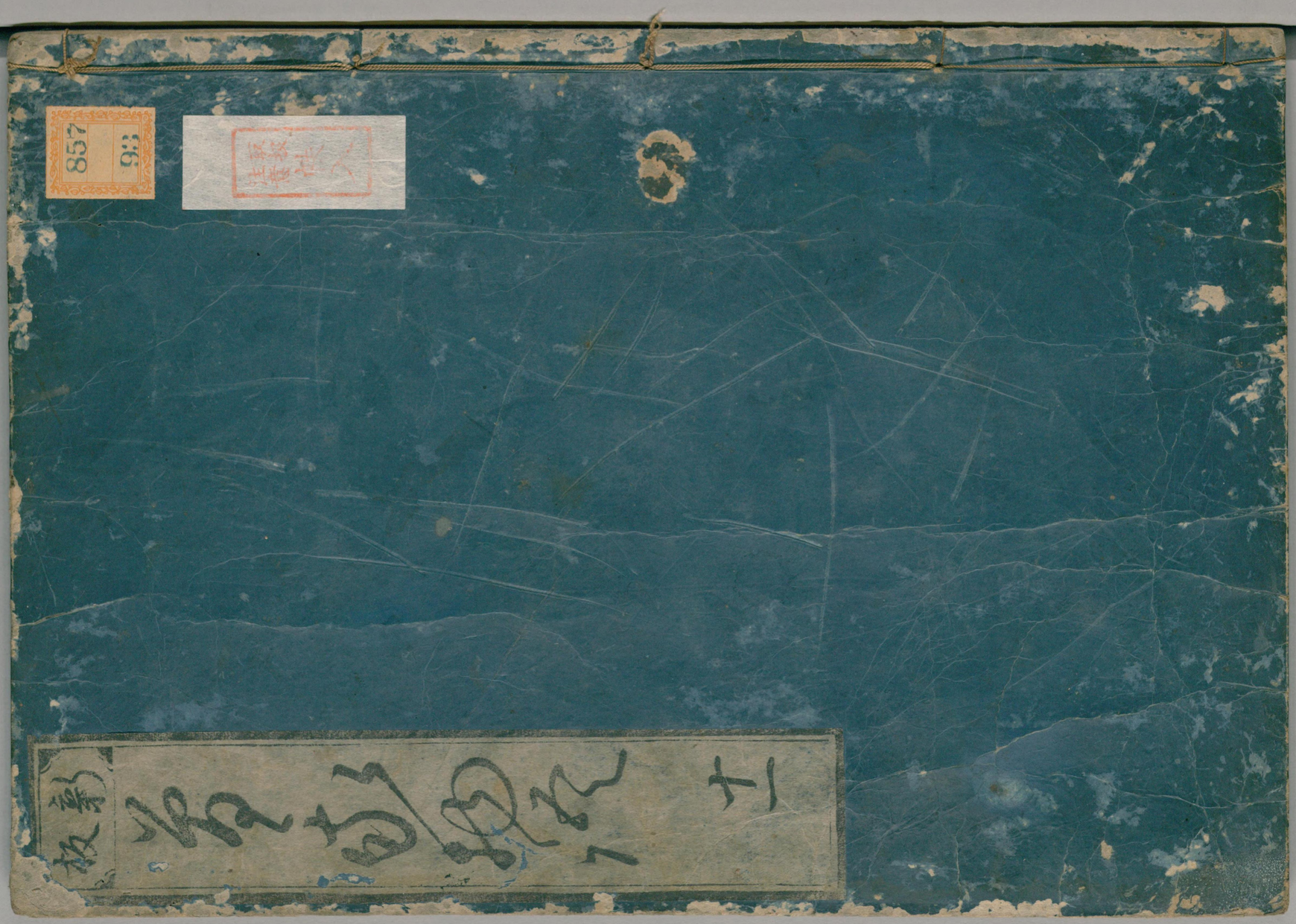




ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93

857-93

曽我物語巻第十一目録

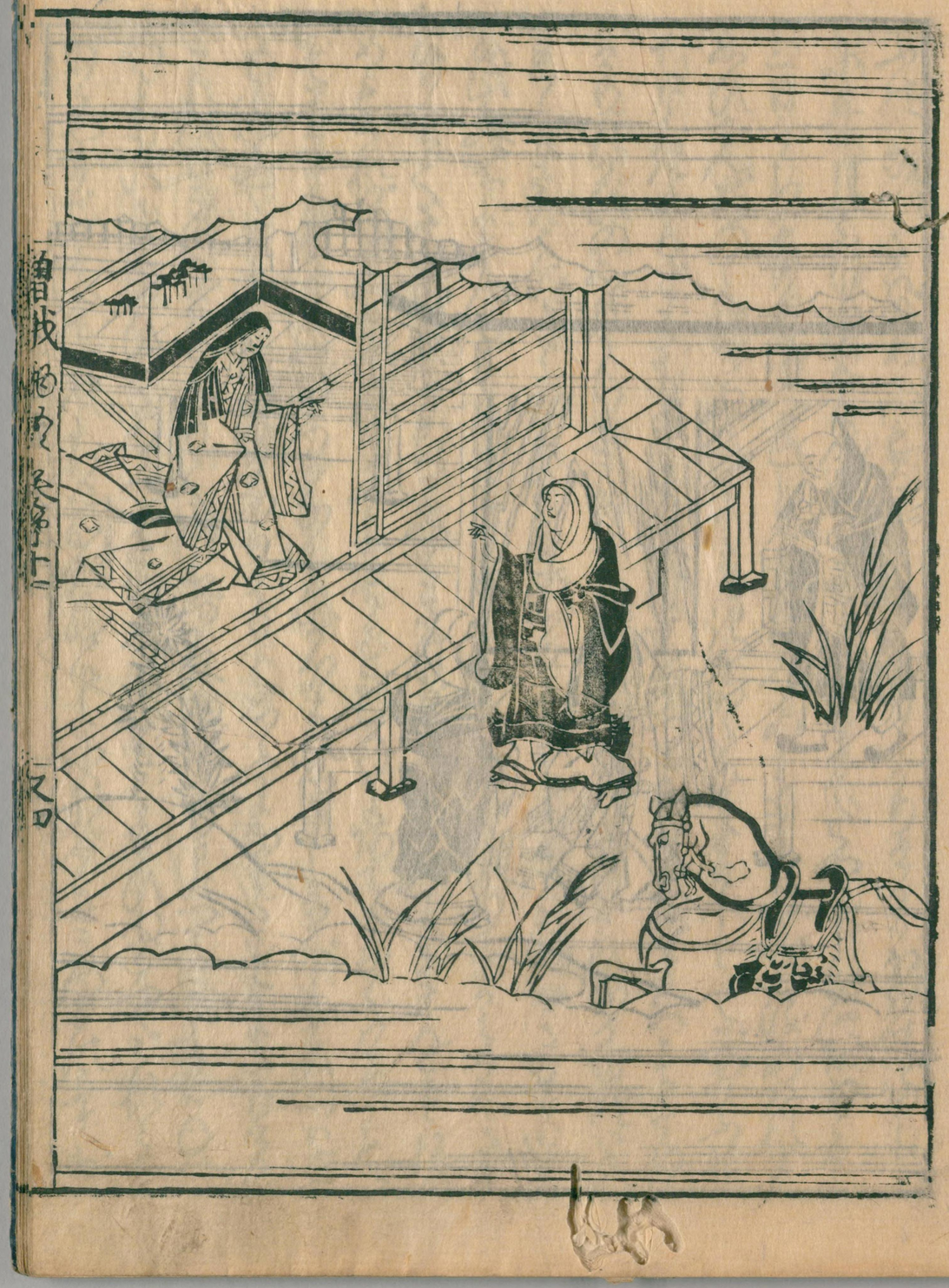
一 とらぶそがへぎたりし事
二 まくとどらぶまこのへのぼりし事
三 おなれ子どらぶ事
四 まこのまそぶのじの事
五 ひんなよが一とう乃事
六 かんせうぶやう乃事
七 こやうぶいかこにいるくらす

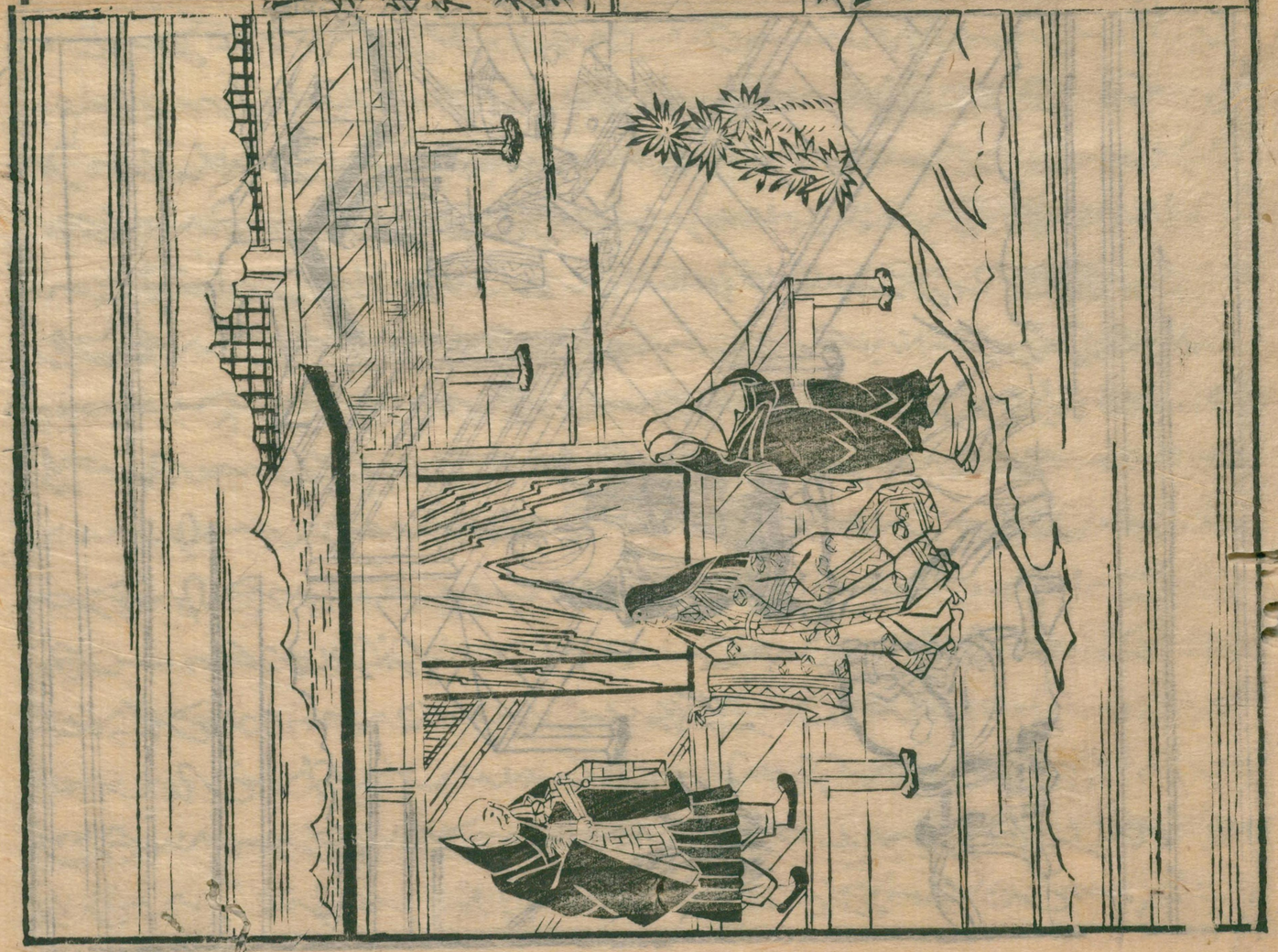
曽我物語巻第十一

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93　ガラス使用

一

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93　　ガラス使用



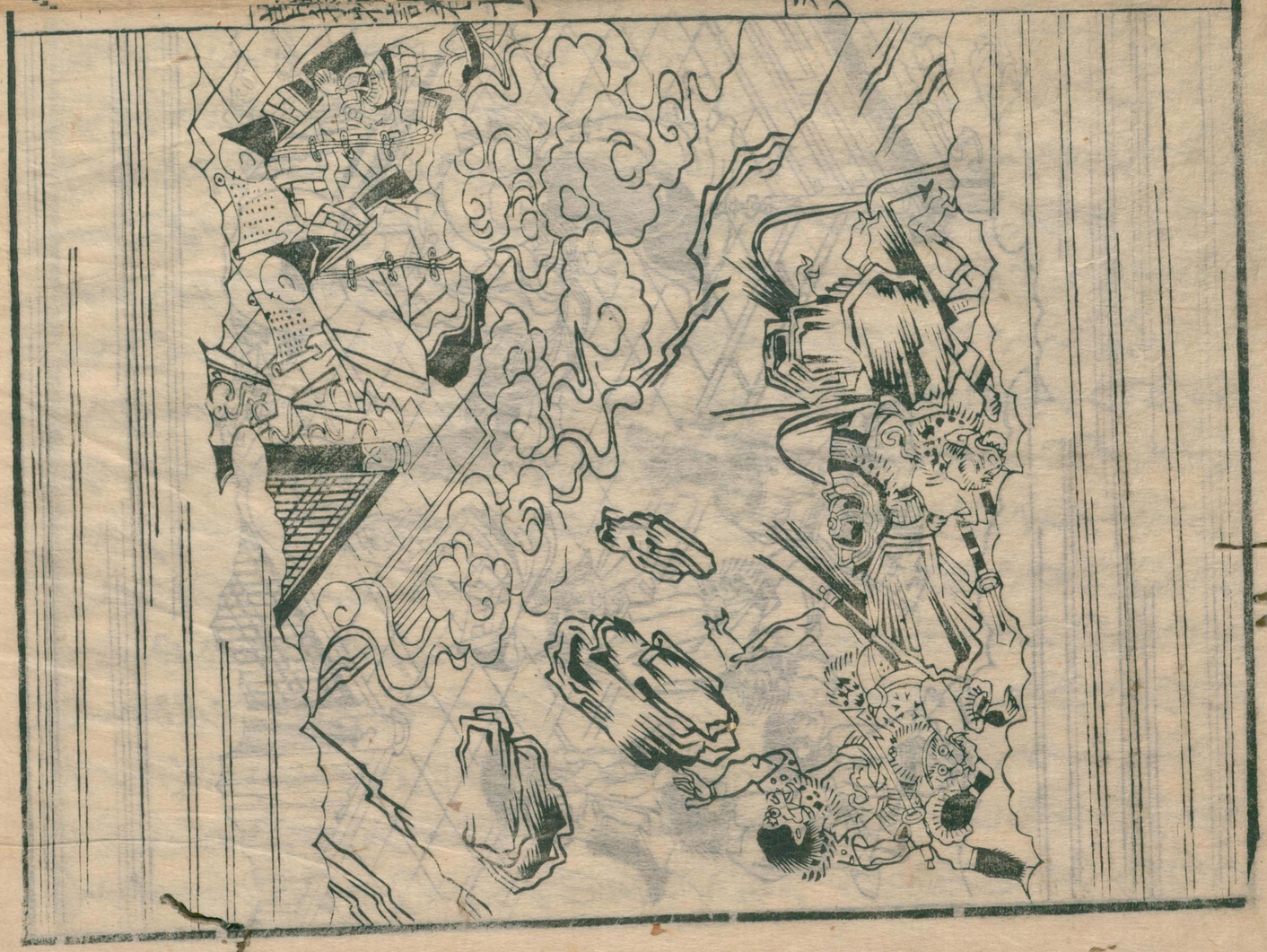


ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93

かくはなれたんざ後人よまもぐるくはよりかやうの御恵まあづり
ぬいかれいかがひなくたかれらがあんとんなるんとそうれしくをそそ
これや芳志やうとうん門沈の御附いづゝ或ア乃
なかしにおろれて出しをくるに先あられと我がしめして母がん
となりぐさめんとおがりめし御衣をとらごされしがいづゝ志きぶ
もろともにこけのしたにをとらしぎとして
うづもれぬ名をとさくぞうれしさ
かやうにうきうしるまぞ志ひしられくがたけなくおがし
さふしぬぞやぞれりつきひくぶじさびの仏るんのおよふか
どいとなひべきうそ此ばかりにはさりぬべきごうしをひり○ね
別当をどうしにさぐめまりて此又ちにがすまとれだと御歌さ
えぬ一へ称んどろかべしおろさはともなひなるべしとくうつりま
くりどしはたくがうしろまぐこと見おくりぞうにがよそ御ひ当
出られてごれをなどりは知しうりくりぎしぬごれ秋のゆへ入さび
しきれ稀ふせやの形の月なぐこにくるわうしやおりしり

がかれ志ぬのこふぎまくらにはかるきりぐくまとのきぐれおぎをふく
風に古つ志ひ志られつ間しもながれよをまどからおりしか○さ
なかしひ○乃おふゆめぐふをなけまぐやかくしく称やのまさう
りおきそふ嘉のうさなれがうつくのゆるをうくぐらうおけがれ
うりが○のぞをかくしひなくふをぞうしおしくぞ志ひやるよそれ
きぬこをさくかしにぞにしび風れいとぐ志くう○さくそらに御に
[二]
たくさしをぐしてたくさ○へのがりしす
あれぬるやどくはしへぐをぞまくらなしぐしむつとれおるるのらの
りうれぐりは今をおそふしりしておきをせぐ称をせぐ称をく
もひなくはあにしまにくらおきひつこつぞうひはさくりこ
りこ山若をしへがふうりれそらゆやこをるん母をふくく
どそぐといへが打出ぬとのづからなるみちのをとり我がこをくく
なりりがぞことをしらぬまりこ川げわげくはやりくるん。
ゆさうのくうげとのがるふをぞうれしんを此ぞうをかくよそかよ
ひなれしとぞひやらはくおづさゆゝやしそその根をうんおげつくも

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93
ガラス使用



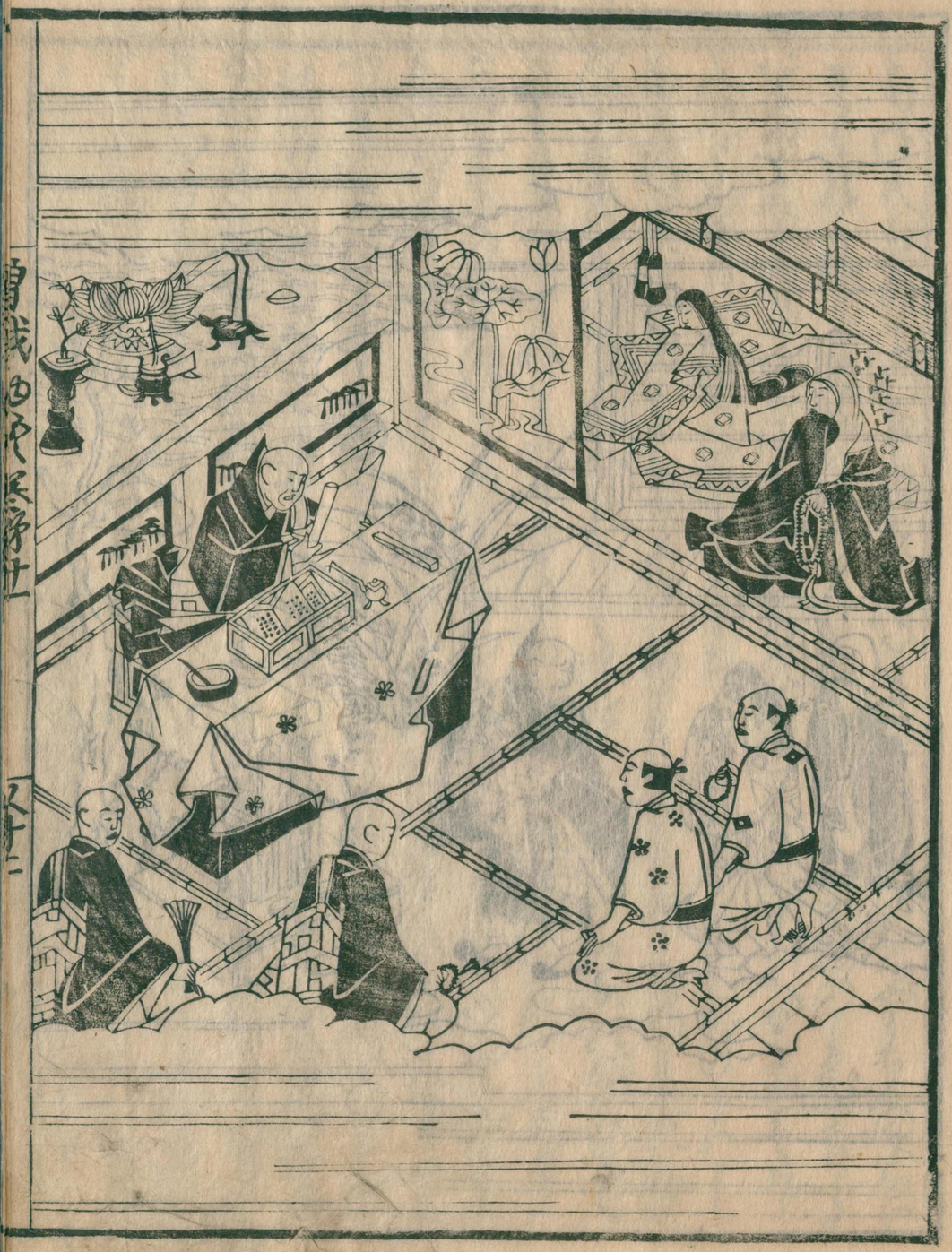
国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93　　ガラス使用

大しれおんごんのけうをとまもとれ。かなしさうなや。志なまはかう王
れかしやくのとゞをさけばとやうるしみをたもとくといへたいまぐこ
かくもうのかげ○とやしなりどとをんあひのふをなやませたされ
かくりうせんのせあをまゐるまんこれよよのくちそうもと志よ
どくいくがくのつしぞやこれぞくあまほのぐもと志よさたぐいも志
りしくめをつさぶそしつうじをしふよ。さうゆ。みなむなしゆび
をおりてそうしんをかぞくまぐ志んをおかく。これぬ時うつり。
さりて今なんぞべうがうさらん。人ぞよりてまれゆさされ
かえのこりやせん。三がひむあんゆむよ。もさくとみまぐもうぐう
もこれゆめ之天をとのふをも志のもしいたんやげまつひんせん
のこをがらなどかそれつきかつるぐさ志にくるしをまし。ごうれ
志さがくかなしをそふなし。しひさしぬぞおろかなる西さいまどん
かくちのつくしてちくかんいくだくのぜんくをんぞぐいまうくも志づ
うれしてぜうつうぐ一せいぞ志んぢう花月あひつくつるにあるじ
とうしなふ。七月なるだれうらがんのそんまうぐされふるあらんこなく

くなうぐれぞかきなる。西とれとりさりまりそりされがおやのをを
ちふんぐれつきさるはちくれおんを志ゆしたとんをたくれをんを大かはよ
おれじといつり。まれ一こうのあのぐごくたぶ。見のおんはくるのなし
とみとさり。たいなるいしやどりもとくしめんをつくし。月をうさ○
日をおくりぬまうく時は。くまれゆしよりぎのやをもらく。天地方
とのおんてはだつつをぬをはうけ。あくてそこないやぶらざるを。
のたしじめとれ。きやうかうのふくろよつまれしよりの西よいてる
まぞちうやれやとさるなし。人のおやのなしひ我これなとろ
つるをばしたれしてまれせいだんを孫がひしぞうし。このそんをまそい
まぐさうりふをみちぎとしてだくれされ立ぬ。されがけうきやうれ
いたくおいふつとくしてしたしかんぐ。たくはしたしくしてふつとから
ぎどそんしんたしまられとう○くるは。ちくひとりしといへ九四れそんの中
まは二しんなれば。母のなげきをせけなれたあるうホのたぢちくの
かこれふ身をもてそのくいのらをうしなふ人のおやのををしふ
やしれまうふみちをろかなるをいとおしくかこしなるをかなし

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93
ガラス使用

てんぢの乃ぎとゞ一ぢせんさん乃ちうをもんくやうりくなりごめこ
てまつり神とのたひなるにいくりうあらくにまし因をいまれ
てんまん大ぢぐのてんぢんこれこそわりのりをなしてかゝとあがめら
まつりふ法ものせうあるの乃まさかどおうふん乃なるなりよりこれ
うこそうがとおりしいつき因ふもしきやうぐの乃ふんをもかゝに法い
たひあるべきやとぞやされ御

七

さやうぐの神にいたるなくる
さ因がたよりともつくぐおがしめし御ぢれども乃ふる因
ひ世にこへしるとかゝにいたひてもあさあるべしとそせうめいく
まうぢんぐうとながめぶじ乃ちそのにやうをさてまつかぜと
いふところをなぐ法さしんおりりまとふりちれようぎやう
上人をういさんとしてぢそうをもへ祿ぎかんねしをさごめくぶ
月廿八日ふかとにどくさやうぐしぶつく乃かうあいをさくぐ
るいまにこつどそれよりしてかれとまろ乃たるひさそぶつをも
をせうまろよし神人のゆめにまんてなりぐつとしともいふなり

なしされバしかゝにまつりがうれうせくさべといのりなまハ
うなしぎとかなひなるとうやいまもとそんぐくきんぐく乃とも
がしおゆゝをもゝびおとがねれハなりをるも

曽我物語巻第十一終

857
93

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』　請求記号 857-93
ガラス使用